

# 「感電事故防止「フカボリ」勉強会 in 中国地域」の開催について



令和6年2月13日  
中国四国産業保安監督部  
電力安全課 技術係

## 1. 背景

直近3カ年において、中国管内の感電事故件数（事故報告対象事故）の推移は、令和2年度8件、令和3年度4件、令和4年度7件となっており、また入院を伴わず報告対象事故として取り扱わなかった件数を含めると毎年10件前後の感電事故が発生しています。

現在、事故防止のための取組の一つとして、毎年夏に中国5県の会場で開催されている電気主任技術者技術研修会での事故事例紹介がありますが、複数年の事故を原因別や作業別など分類したうえでの傾向分析や、現場に精通する管理技術者等が特に疑問に感じている事故についての背景や心情、過去の点検時との違いといった「フカボリ」した分析まではできていない状況です。

## 2. 目的

こうした背景から、「フカボリ」した分析結果や事故防止に向けた取組事例等を情報発信する機会を設けることにより、現場に従事する電気主任技術者・管理技術者及び電気工事・点検作業等への感電事故防止に寄与することを目的とします。

## 3. 開催日時

令和6年3月8日（金） 13:00～15:00

## 4. 開催方法

オンライン開催（Teams） ※Teams アカウントなしでも参加できます。詳細は12. 参照

## 5. 議事次第

### （1）過去の感電事故の「フカボリ」分析（13:00～13:45、中国四国産業保安監督部）

- ・過去2年の中国地域で発生した感電事故のうち、現場に精通する電気主任技術者や管理技術者にアンケートを取り、特に気になる事故事例4件をピックアップし、追加調査の実施及びフカボリ分析した結果を紹介。
- ・過去5年の中国地域で発生した感電事故を月別、原因別、電気工作物別、被災者別、作業別に分類した上で、特徴的な傾向がないか分析を行った結果を紹介。

### （2）感電事故防止に向けた取り組み事例の紹介（13:45～14:15、中国電気保安協会他）

- ・感電事故を防ぐための基本ルール、ルールを守らせるための具体的な仕組み及び保安教育についての紹介（中国電気保安協会）。
- ・感電防止に資する機器を活用している事業者に協力を仰ぎ、その効果検証について取材した結果を紹介（中国四国産業保安監督部）。

### （3）過去の詳報分析を踏まえた感電事故事例の紹介（14:15～14:45、NITE）

NITEが行った事故情報の分析の中で、水平展開すべき事例を紹介。

### （4）質疑応答、意見交換、監督部からの情報提供など（14:45～15:00）

## 6. 対象者

電気主任技術者、管理技術者、電気工事業者など電気保安関係業務に従事する方、自家用電気工作物の設置者など

## 7. 定員

200名

## 8. お申し込み締め切り

令和6年3月7日（木）17：00

## 9. 参加費

無料

## 10. お申し込み方法

以下の申込フォーム URL をクリックもしくは右記の QR コードを読み込んでお申し込みください。

お申し込み完了後、Teams の視聴用 URL をお送りします。

<https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/denki-anzen/nsmg3rtz2w47>



## 11. お問い合わせ先

担当：山下

TEL：082-224-5742（平日9：00～17：00）

Email: bz1-chugoku-gijutsu/atmark/meti.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「/atmark/」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

## 12. Teams アカウントなしで参加する方法（出典：Microsoft HP より）

手順 1. 会議の招待メッセージを表示し、[ここをクリックして会議に参加する] を選択します。

手順 2. Web ページが開き、[このブラウザで続行する]、[Teams アプリで参加する]という2つの選択肢が表示されます。[このブラウザで続行する]を選択ください。会議に参加するために Teams アプリをインストールする必要はありません。ただし、ブラウザで会議に参加する場合は、Microsoft Edge または Google Chrome でしか参加できませんのでご注意ください。

手順 3. Teams がマイクとカメラを使用できるかどうかを確認するメッセージがブラウザから表示されます。

[許可] を選択した場合も、会議に参加した後、いつでもマイクやビデオをオフにすることができます。

※ただし、当日は主催者側の設定により、マイクとビデオは一律「オフ」とさせていただきます。もし個別にご発言いただく場合等は、主催者側で個別にマイクやビデオを「オン」にさせていただきます。

手順 4. 準備ができたなら、[今すぐ参加] を選択します。